

各加盟団体
アルペン競技担当者 様

公益財団法人全日本スキー連盟
競技本部長 古川年正
アルペン部長 片桐幹雄



2014/2015 シーズン
アルペン競技国内大会における各カテゴリーの
SAJ ポイントに関するルール等について (通知)

平素より、本連盟の事業につきまして御理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。
さて、本連盟アルペン部では、春季技術・運営委員会を開催し、公認大会開催について検討した結果、一貫したポイント制度の確立と、より選手強化に結び付く競技会開催を目的に、下記の通り決定いたしましたので通知します。

尚、本通知は、平成 26 年 5 月 30 日付け SAJ26 競第 654 号にて通知した内容を詳細にしたものがあります。先に通知したものと合わせて内容ご確認ください。

特にチルドレンレースについてはチルドレンポイント制 (順位ポイント) から SAJ ポイントに移行することになり、また SAJ ペナルティーポイントは B 級大会を含めて採用値が変更となります。

選手の次期シーズンの用具購入にも影響があると思われるので、関係各所・コーチ・選手への速やかな伝達をお願い申し上げます。

添付資料

- ・ SAJ アルペンポイント マキシマムペナルティー / ミニマムペナルティー (別表 1)
- ・ 14-15 シーズン スキー用具に係る国内運用ルールについて (別表 2)

注: U14 と U16 の SG・GS スキーについて、ラディアスの記載を追加

記

■ SAJ 公認アルペンチルドレン競技会

1. チルドレンレース (K1・K2) は 14-15 シーズンも公認大会として実施する。
2. 出場資格について
 - ① SAJ 競技者登録が完了され、大会要項に記載されている出場資格を満たしている競技者。
 - ② 小学校 5 年生から高校 1 年生早生まれの競技者が出場できる。また、K1 と K2 に区分される。
 - ③ K1 カテゴリーは小学校 5・6 年生の競技者、K2 カテゴリーは中学生・高校 1 年生早生まれの競技者が出場できる。

3. 種目

スーパー大回転 (SG)、大回転 (GS)、回転 (SL)、コンビ (KB) SL/GS とする。

KB は K1 の SL 種目のひとつとして扱う。

4. (1) K1 のチルドレンポイント廃止し、K1、K2 とも SAJ ポイントをつける。

各ブロック内や各都道府県単位での K1 競技者の状況を把握し、K2 カテゴリーへの連動性を考慮しながら、今後の育成を目的として SAJ ポイントを採用する。

但し、マキシмумペナルティーポイントとミニмумペナルティーポイントを設定する。

K1・K2 のペナルティーポイントは別表 1 の通りとする。

※マキシмумペナルティー

F I S ルールに基づいてペナルティーポイントを計算し、ペナルティーポイントが規定のマキシмумペナルティー値を越えた場合は、マキシмумペナルティー値をペナルティーポイントとして採用する。

※ミニмумペナルティー

F I S ルールに基づいてペナルティーポイントを計算し、ペナルティーポイントが規定のミニмумペナルティー値を下回った場合は、ミニмум値ペナルティー値をペナルティーポイントとして採用する。

(2) K2 の「全国中学スキー大会」「全国ジュニアオリンピック」「全日本ジュニア選手権大会／中学生の部（雫石 SG×2 戦）」は SAJ ポイントと順位ポイントを算出し、順位ポイントの合計により、次年度の国内 F I S レースの有資格者を決定する。

(3) 16 歳以上の B 級大会（B 級公認各都道府県選手権大会も含む）と併催する場合、K1、K2 は、チルドレンルールに従ってレースを実施する。K1、K2、16 歳以上のブロックでスタートさせることにより SAJ ポイントが認められる。

5. スタート数の制限

① 経済的な負担を軽減する為、ブロック内の競技会に出場することを原則とする。

ただし、ブロック内の開催競技会が少ない場合、他ブロックの競技会にも参加できる。

② 各種目、小学校 5、6 年生は 4 レース以内、中学校 1 年生・2 年生は 5 レース以内、中学校 3 年生は B 級大会も含めて 6 レース以内とする。

レース数は各選手がスタートしたレースのみカウントし、悪天候等で途中中止となったレースは含まれない。

高校 1 年生早生まれの選手はレース数の制限は行わない。

※全国中学スキー大会・全国ジュニアスキー選手権大会／中学生の部（雫石 SG×2 戦）・ジュニアオリンピックはこの制限には含めない。

③ スタート数が順守されているかの確認は各都道府県が責任を持って行い、規定のレース数を超過してスタートした競技者にはペナルティーが科せられる。

6. その他

① SAJ 公認アルペン B 級競技会には、K1 及び K2 の中学 1、2 年生の競技者は出場できない。

② 中学 3 年生以上の競技者は、SAJ 公認アルペン B 級競技会に出場できる。

③ 高校 1 年生早生まれの競技者は、全日本ジュニア選手権大会（SG 中学生の部）とジュニアオリンピック大会に出場できる。

④ 選手の安全を確保するために、全種目で軽量ポール (25-28.9mm) を使用すること。

■ジュニアオリンピック大会

1. 種目

K1はSGとSL、K2はGSとSL競技を実施する。

2. 出場資格

以下の通りとし、2種目出場とする。

①SAJ競技者登録が完了され、各都道府県に割り当てられたエントリー数内で、各都道府県で選抜された競技者。

②K1 カテゴリーは小学校5・6年生の競技者、K2 カテゴリーは中学生・高校1年生早生まれの競技者が出場できる。

③当該シーズン全国中学校スキー大会各種目30位以内の競技者。

④14-15シーズンのチルドレン強化対象選手に選ばれた競技者。

3. スタート順

K1、K2ともグループ抽選とする。但し、K2第1グループは全国中学スキー大会当該種目10位以内の競技者と各都道府県のスタートランキング1番手の競技者で抽選を行う。スタートランキング2番手以降の競技者は、いくつかのグループに振り分けて、グループ内で抽選を行う。

(K1、K2ともスタートランキングは各都道府県が決定する。)

■全国ジュニアスキー選手権大会／中学生の部（雫石SG×2戦）

1. 参加資格

大会要項に記載する。

※対象年齢 中学1年生～高校1年生（早生れ）

2. 競技用品

用品規定は、別表2で定める。

■国民体育大会 少年男子・少年女子

1. 参加資格

中学3年生（15歳）以上、高校3年生まで（19歳未満）

2. 競技用品

用品規定は、別表2で定める。

■全日本B級公認レース

1. 参加資格

中学3年生以上（15歳以上）。

ただし、中学3年生（15歳）は、チルドレンレースとB級大会を含めて、各種目6レース以内とする。（中学3年生のレース数は、スタートを切ったレース数をカウントする。スタートを切っても悪天候等によりレースがキャンセルになった場合はカウントしない。）

2. 競技用品

用品規定は、別表2で定める。

3. ペナルティーポイント

別表1で定めたポイントを適用する。

■その他の公認大会

1. 参加資格

各大会要項で定める

2. 競技用品

別表2で定める。

3. ペナルティーポイント

別表1で定めたポイントを適用する。

以上

SAJアルペンポイント ミニマムペナルティ・マキシマムペナルティ

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	全日本選手権 ジャパンシリーズ	FISレース (1)・(3)以外 のA級大会	インカレ・学生チャンピオン インターハイ・高校選抜 全国中学・ジュニアオリンピック 全日本ジュニア選手権	チルドレン以外の各B級大会	チルドレン K2	チルドレン K1
ミニマム ペナルティ	0点	0点	※SAJ 種目別ランキング 10位	SAJ 種目別ランキング 男子 150位 女子 100位 参考(13-14 SAJ No12) 男子 SL 27.95/GS 24.99 /SG 52.15 女子 SL 32.59/GS 27.65/SG 89.31	男子 SL 40点/GS 40点/SG 60点 女子 SL 40点/GS 40点/SG 100点	男子 SL 60点/GS 60点/SG 90点 女子 SL 60点/GS 60点/SG 150点
マキシマム ペナルティ	0点	計算ペナルティ	計算ペナルティ	計算ペナルティ	男子 SL 60点/GS 60点/SG 90点 女子 SL 60点/GS 60点/SG 150点	男子 SL 120点/GS 120点/SG 190点 女子 SL 120点/GS 120点/SG 190点

※各種目有効リストの10位の小数点以下第2位を四捨五入した値

種目別マックスポイント

種目	DH	SL	GS	SG	SC	K1コンビ
マックスポイント	310	145	200	250	250	145

2014/2015シーズン スキー用具に係る国内運用ルールについて

SAJ競技本部 アルペン技術・運営委員会 2014年5月25日決定事項

種 目	D H				S G				G S				S L		
	※スキー長 最短の長さ Cm(センチメートル) ※ラディウス(R) 最小弧 M(メートル)														
カテゴリー/大会	女子		男子		女子		男子		女子		男子		女子	男子	
	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	スキー長	
COC	コンチネンタルカップ	210	50	218	50	205	40	210	45	188	30	195	35	155	165
FIS/NC	FISレース 全日本スキー選手権	205	50	213	50	200	40	205	45	183	30	190	35	155	165 ※1
SAJ-A級	インカレ 学生チャンピオン					200	40	205	45	183	30	190	35	155	165
	インターハイ・高校選抜 (高校1年生早生れ含む)					200	40	205	45	183	30	190	35	155	165 ※1
	国民体育大会 (中学3年生・高校1年生早生れ含む)									183	30	190	35		
SAJ-B級 (チルドレンレースは除く)	全選手共通 (中学3年生・高校1年生早生れ含む)	205	50	213	50	200	40	205	45	183	30	190	35	155	165 ※1
チルドレンレース (SAJ-B級) 全国中学 ジュニアオリンピック 全日本ジュニア選手権SG (中学生の部)	U14(14歳未満)					スキー長・ラディウス共に 体格、体力、技能に適応したスキー				最大スキー長 188cm ラディウス R≥17 ■スキー長・ラディウス共に 14-15/15-16シーズン推奨				130	130
	U16(16歳未満)					最小スキー長 183cm ラディウス R≥30 ■最小スキー長・ラディウス共に 14-15シーズンは推奨 15-16シーズンより義務づけ				最大スキー長 188cm ■14-15シーズンは推奨 ■15-16シーズンより義務づけ ラディウス R≥17(義務づけ)				130	130

※1 : U18(18歳未満/Junior1)SLにおいては、-10cmの許容差を認める

スキー高	スキー板+プレート+ビンディング	50mm 全種目、全カテゴリー、男女共通
ブーツ高	すべてのハードおよびソフトパーツを含む ヒールの底部からスキーブーツソールまでの間隔	43mm 全種目、全カテゴリー、男女共通
ヘルメット	FIS公認レースは14-15シーズンより、すべて新規規格のヘルメット着用を義務付けする。 SAJ-A級大会・B級大会は、14-15シーズンは新規規格のヘルメット着用を推奨する。 15-16シーズン以降は新規規格のヘルメット着用を義務付けとする。 新規規格ヘルメットには、新規規格対応表示(FIS新規規格対応ステッカーなど)が明示されていなければならない。	

※ 本書はファックスによる伝達を禁じます。